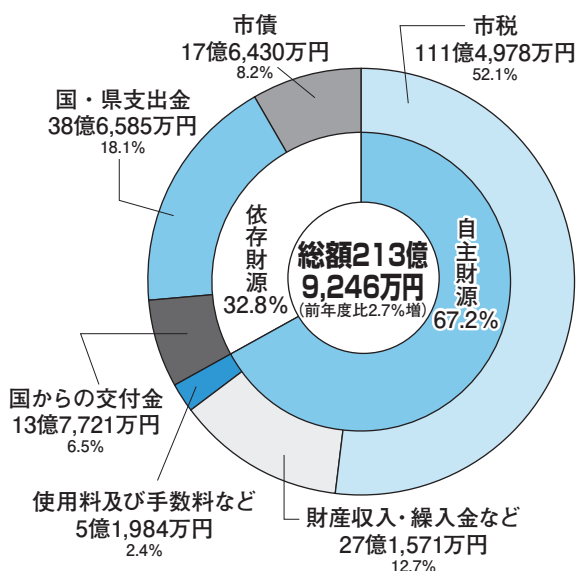


過去2番目の黒字額でも、依然厳しい財政状況。大切な税金の使い道を厳しくたす。

平成24年度決算を認定

平成25年9月定例会は、9月5日から30日まで開かれ、平成24年度一般会計及び特別会計などの決算認定7議案と、25年度補正予算、条例の改正など合計16議案が提出されました。

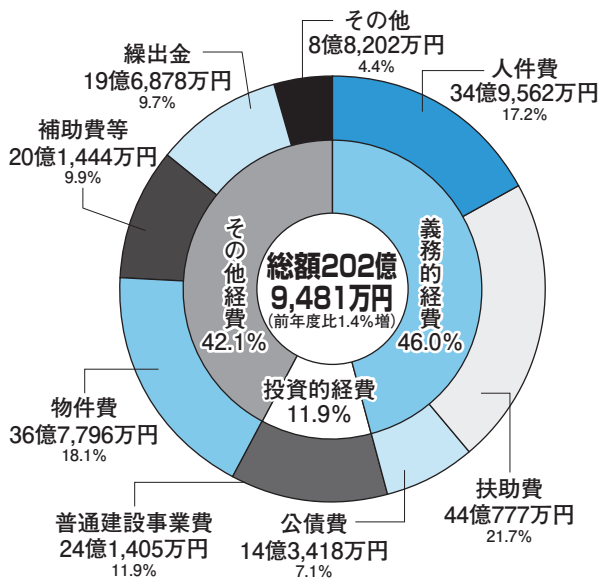
一般会計歳入決算の内訳



市税の内訳

個人市民税	46億4,992万円
法人市民税	8億1,466万円
固定資産税	42億7,343万円
軽自動車税	9,138万円
市たばこ税	3億8,390万円
都市計画税	9億3,651万円

一般会計歳出決算の内訳



市債残高

一般会計	157億9,872万円
特別会計	84億9,325万円
企業会計	12億5,275万円
合計	255億4,472万円

主な歳入【財源】

()内は対前年度比

市税
個人・法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税等
111億4,978万円
(2,341万円減)

市債(市の借金)
建設事業および財源確保などに充てるために借り入れる借金
17億6,430万円
(1億7,880万円増)

繰入金
基金(市の預金)の取り崩しや他会計から繰り入れるお金
8億3,701万円
(1億7,880万円増)

地方交付税
税収入の不均衡による財政格差を調整するため国から交付される
4億476万円
(5,626万円減)

財産収入
土地などの資産を売却して得るお金
3億1,083万円
(2億7,222万円増)

国・県支出金
国・県が負担するお金
38億6,585万円
(2億8,330万円減)

決算の特徴

- ◇歳入歳出の差額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は10億7,808万円余の黒字で、平成20年度に次ぐ過去2番目の額。
- ◇個人市民税は前年度比4.7%増収。法人市民税は前年度比2.2%の減収。
- ◇昨年度に引き続き、普通地方交付税の交付団体。
- ◇知立連続立体交差事業は、総事業費615億円(市負担は約119億円)のうち、平成24年度末までの事業実績は約125億9,000万円(進捗率20%)。平成35年度までの事業。
- ◇知立駅周辺土地地区画整理事業は、総事業費約197億円のうち平成24年度末までの事業実績は約91億5,000万円(進捗率46%)。

